

弊社はアンモニア冷凍設備を設置しており、福岡県冷凍設備保安協会発行のヒヤリハットテキスト中のアンモニア冷凍設備に係る事例を中心に、高圧ガスの設備関係者全員に閲覧させている。

閲覧する事で情報共有でき社内の危機管理意識の高揚が図れている。

事業所名：麒麟麦酒（株）福岡工場

所在地：朝倉市

従業員数：250名



アンモニア冷凍設備 第1種製造者 8-1

**オイルストレナ点検整備中にアンモニアガス漏洩!!**

※オイルストレナの点検清掃をするために、アンモニアガス処理を行ったが怠りがあったためガス処理が不十分のままドレン弁を開いたため、オイルとアンモニアが噴出し、アンモニアを吸込んだ。

**アンモニア**

原因…作業手順の不備

1. 圧縮機を停止して吐出止弁を閉める
2. 止弁1・2を閉じる。
3. 止弁4を開き油分离器及び油タンク、配管内のアンモニアガスを圧縮機で吸引する
4. 圧力計の圧力が 0MPa より上昇しないことを確認する。止弁4を閉める
5. ドレン弁を少し開いて設備内に残存するガスを大気中に放出する
6. ストレーナカバー締め付けボルトを取り外してストレーナを取り出し点検修理を行う
7. ストレーナを取り付ける。カバーボルトが片締めにならうに對角線に締め付ける
8. 止弁2を少し開きストレーナ部分の気密試験を行う(ガス漏れがないことを確認する)
9. 止弁2を全閉して再度気密試験を実施する
10. 吐出止弁及び止弁1・4を閉ずる

作業手順

予防対策は

作業手順の遵守

1. ガス処理を行うときは、余裕のある作業計画と作業手順を遵守すること
2. アンモニアの特性を理解して、必要に応じた保護具・保護衣を着用して作業に当たること

- 29 -